

## 山武郡市議会議員 研修会開催

7月1日、山武郡市議会議員研修会が成東文化会館「のぎくプラザ」を会場に開催され、席上、野村和好議員に感謝状が授与されました。

また、その後全国都道府県議会議長会元議事調査部長野村稔先生から「議会改革と議会運営の実際」について講演がありました。

講演は、主に地方議会の役割・議員のあり方、本会議の運営・委員会等について具体的な説明があり、参加されたみなさんは興味を示しておりました。また、議会改革についての方法やアドバイス等資料に沿って、詳細に話されました。



## 山武郡市議会議長から感謝状



野村和好 議員

7月1日に開催された山武郡市議会議員研修会の席上において、前山武郡市議会議長として会務運営の重責にあたり本会の使命達成に尽力があったとして、野村和好議員に感謝状が贈呈されました。

## 民間一般廃棄物焼却施設を視察



ナリコークリーンセンターの概要等について説明を受ける

現在横芝光町のごみ処理は、横芝地区と光地区が別々の衛生組合に加入し、処理をしています。町民からはごみの袋も違うことから、統一した処理を要望されています。

山武・匝瑳それぞれの組合のごみ焼却施設も老朽化しており、改修や改築が必要のため、今後のごみ処理について、検討が必要な時期にあります。

今後のごみ処理の方法として、民間ごみ焼却施設への委託も考えられることから、成田市にある民間施設を視察しました。



成田市のごみを大量に受け入れ

## 編集

## 後記

梅雨空の中で木々の緑が鮮やかさを増しております。

議会も4月改選後新たな体制も整い、活動も本格化してまいりました。3月に発生した東日本大震災は、観測史上最大の規模となり、未曾有の被害をもたらしました。原子力発電所の事故も重なり、今まさに国難とも言える状況にあります。当町に於いても、多くの被害が発生し、その復旧にむけて最大限の努力が求められております。6月定例会議に於いても震災についての関心が非常に高く、多くの質問が出され、未だかつてない出来事に対しての当局の対応が問われました。「自助」「共助」「公助」という言葉があります。「自分達の地域は自分達で守る」を基本とし、自らの対応、家族としての対応、地域間の対応、行政への要望等々、多くの犠牲を出したこの震災を契機として、又教訓として、消防・防災に対しての対応を改めて考えたいと思いました。

広報委員 若梅 喜作